

WE-Collaboration

「地域自立支援協議会等を活用した ＜障害児個別支援計画＞の作成に関する研究」

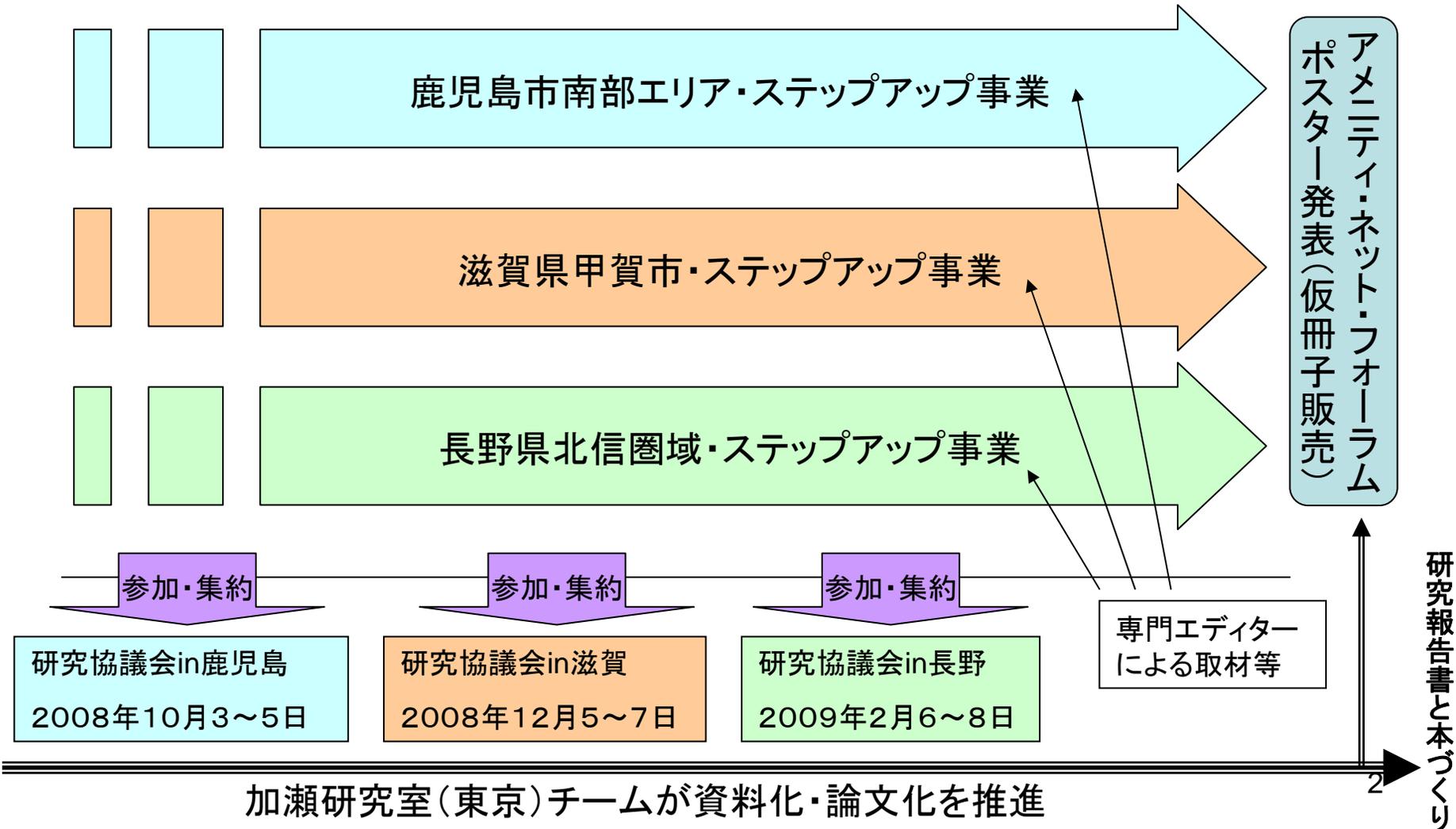
厚生労働省「平成20年度障害者保健福祉推進事業(障害者自立支援調査研究プロジェクト)」
20081004

全体の進行イメージと
長野・滋賀・鹿児島3エリアの取組概要

WE-Collaboration

<個別支援計画>研究2008

全体の進行イメージ



長野県北信圏域における ステップアップ事業イメージ

初期投資の効果指標
何を、何で評価する？

チームが機能する条件・要件

- ・巡回頻度／職種
- ・費用と財源
- ・評価を得る振る舞い方、etc
- *ゼロ・エリアの見込み値・期待値や試行による解析

チーム訪問

総合センター：3名
市・子ども相談室：3名
市教委教育相談：1名
特別支援教育Co参画

Step up の戦略

特別支援教育連携協議会と
地域自立支援協議会・療育部会
の合同開催とその波及効果

チーム訪問

総合センター：3名
市・子ども相談室：3名
市教委教育相談：1名

・幼保14園（年間70回）
・就学先（H19～）
・就学予定児相互訪問？
・個別支援会議の促進？

・幼保14園（年間70回）
・就学先（H19～）

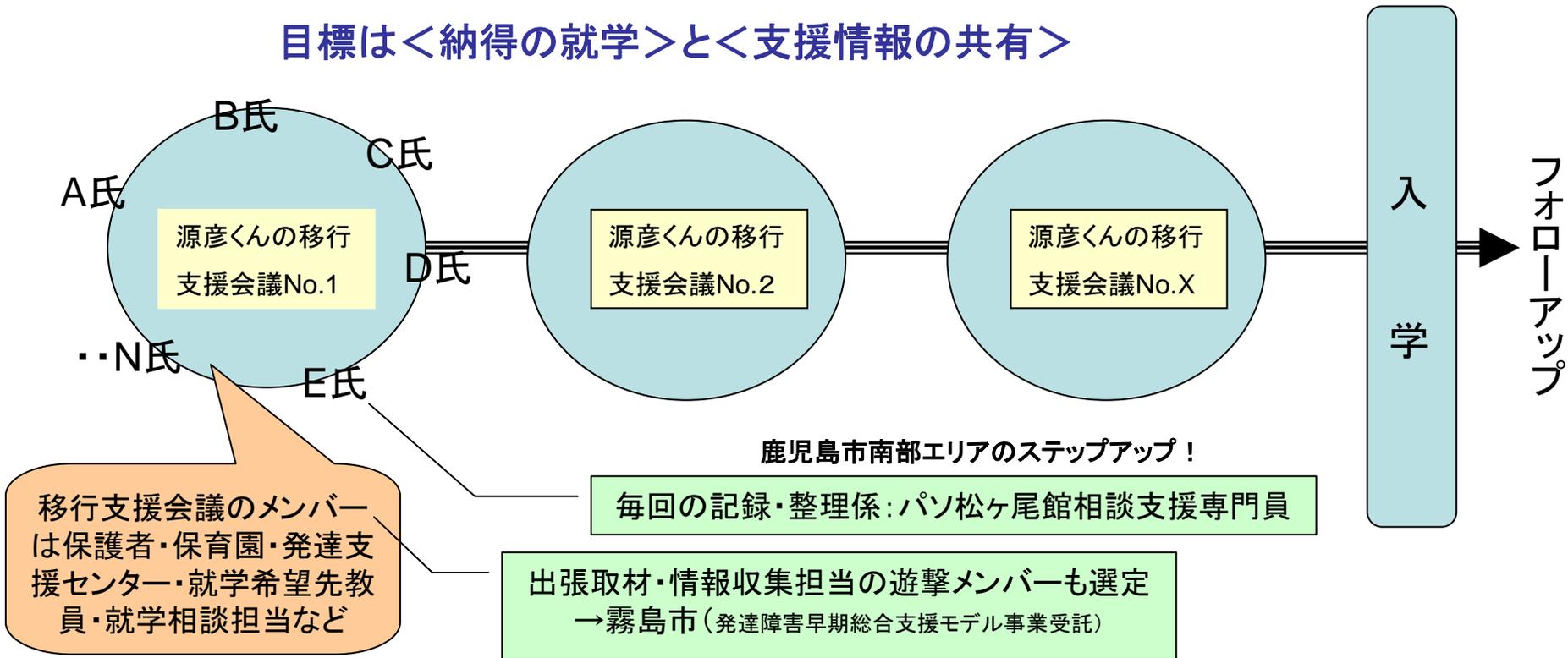
効果の評価指標

・特別支援教育Coの意識と行動の変化
・就（修）学支援の質の向上（情報・アセスメント・個別指導計画・環境整備・サービス利用etc）

鹿児島市における ステップアップ事業イメージ

ゆうかり保育園・発達支援センター
小学校・相談支援センターの
コラボレーションづくり

目標は<納得の就学>と<支援情報の共有>



事例1：かんだ君 - PDD

- 人なつっこさが友だちトラブルに
- 落ち着いた中でできること増やせる
- 療育支援でうまく回転し始める
- 先行成功事例として記述

事例2：けんた君 - 聴覚障害？ + PDD

- 療育機関に通ってきたがすべて中途半端
- 補聴器も極最近までつけていなかった（聾学校経験を有する養護学校教員の指摘が契機）
- 保護者が既に投げ気味で、PDDの判定自体が難しい

事例3：のんた君 - PDD

- 左半身やけどの移植手術課題あり
- こだわりと感情のコントロール
- 療育支援を受託する病院以外の医師が介入しにくく、結果として就学相談に医師が入れないという課題あり

滋賀県甲賀市：福祉と教育の連携による障害児個別支援計画の作成に関する研究

ねらい

「福祉と教育の実践によるステップアップ」

教育、福祉等の専門スタッフで構成する発達障害児支援担当により、発達障害児の早期発見および教育面と生活面を含めたトータルな個別の支援計画の作成および支援を行う。

取り組みは甲賀市で行い、取り組み結果の評価分析を行いロジック化を図ることにより、チームアプローチによる支援手法の開発を行う。

実施予定箇所

甲賀市

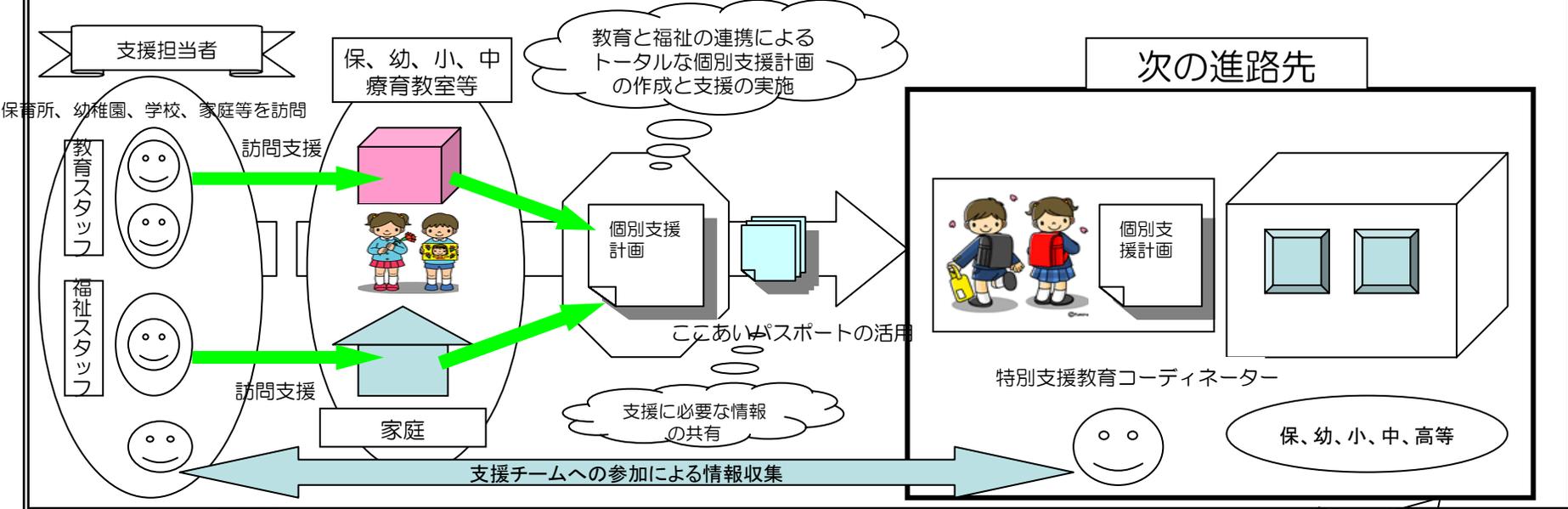
支援担当

特別支援教育巡回チーム+障害者生活支援センタースタッフ+就学先の特別支援教育コーディネーター他

取り組み内容

- モデルケースを対象に支援チームが訪問し発達障害児の早期発見および個別の支援計画の作成を行う
- モデル的取り組みを評価・分析し、チームアプローチによる支援手法の開発を行う。

トータルな個別支援計画の作成と継続した支援へ



取り組み結果の評価・分析

手法の一般化へ